

子育て支援

- 保育料無償化に加え、3歳未満児についても軽減措置を拡充している(第2子半額、第3子以降無料)
- 町内3ヶ所に子育て支援センターを開設し、常時4名のスタッフが育児相談や親子クッキングなどイベントを開催。また、ママさんたちが企画する自主活動のサポートも実施
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402

仕事

就職支援

- Uターン者雇用奨励金により、移住者本人に対し、移住者の正規雇用を促進するための雇用奨励金を交付
- 南三陸町無料職業紹介所を開設し、専門の相談員による求人・求職に関する相談及び紹介(無料)
- 商工観光課 ☎0226-46-1385

起業支援

- 起業支援補助金制度により、地域の資源を活用して新たに事業を開始しようとする方を支援(開業準備経費及び施設設備費補助：上限200万円、運転経費及び雇用経費補助：上限100万円)
- 商工観光課 ☎0226-46-1385

就農支援

- 新規就農者に青年就農給付金を支給
- 農林水産課 ☎0226-46-1378

その他

結婚支援

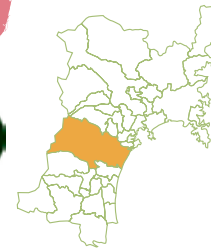
- 結婚相手紹介サービスを利用し、専任の婚活コンシェルジュとともに1年以内の成婚をサポート(入会金・活動サポート費を町が負担)
- 企画課 ☎0226-46-1371



仙台エリア



お問い合わせ
●仙台市まちづくり政策局政策企画部
政策企画課
☎022-214-1245
〒980-8671
宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7-1



ホームページ

■仙台市暮らしのデータ

- 人口：1,091,266人
 - 世帯数：551,449世帯
 - 保育施設等の数：430所
 - 小学校の数：126校
 - 中学校の数：74校
 - 病院の数：56院
 - 一般診療所の数：962所
- (人口、世帯数、保育施設等の数は令和7年4月1日時点)
(小学校、中学校の数は令和6年5月1日時点)
(病院、一般診療所の数は令和4年10月1日時点)

豊かな自然と都市機能が調和した 住みやすいまち

仙台市は、1601年伊達政宗公によって築かれ、東北地方の玄関口、そして経済・文化の中心地として繁栄してきました。街中には緑があふれ、中心部を流れる広瀬川とともに都心にいながら自然を満喫することができる“杜の都”です。また、公共交通を中心とした利便性の高い交通体系のもと、郊外の良好な生活環境を維持しながら都心や拠点に高度な機能を集約した、誰もが快適に暮らし活動できるまちです。その上、四季を通じてさまざまなイベントが開催される楽しいまちです。

動画もチェック!



〈杜の都 仙台〉
豊かな自然と都市とが共存する住みやすいまち、仙台。

〈仙台のイベント〉
仙台七夕まつり、SENDAI光のパージェント等、春夏秋冬イベントが盛りだくさん。



生活交通情報

市内はJR東北本線をはじめJR各線と市営地下鉄南北線・東西線が仙台駅を中心に延びており、これら鉄道を補完するように路線バスが運行され、市内の移動は非常に便利になっています。

こんな人におすすめ! /

色んなことに
チャレンジしたい方

自然と街中
どちらも楽しみたい方

スポーツやイベント
が好きな方



住宅取得支援

- 【新築向け】『ZEH』住宅または『ZEH+』住宅であり、かつ市独自の断熱基準を満たす一戸建て住宅の取得にかかる費用の一部を補助。その他の要件等詳しくは仙台市ホームページを参照。

■環境局脱炭素政策課
☎022-214-8682



- 仙台市産材を一定割合使用した新築木造住宅を建築する際に、建築費用の一部を補助。詳しい要件等は仙台市ホームページを参照。

■経済局農林企画課
☎022-214-8264



- 【仙台市若年・子育て世帯住み替え支援事業】既存住宅の流通を促進するとともに、若年層の本市への定着を図ることを目的として、本市内に一戸建ての住宅を取得した若年世帯または子育て世帯に対し、助成金の交付等を行うもの。

■都市整備局住宅政策課
☎022-214-8330



リフォーム支援

- 【全体改修向け】既存住宅の高断熱化を促進するため、一戸建て住宅全体を断熱改修する費用の一部を補助。その他の要件等詳しくは仙台市ホームページを参照。



- 【部分改修向け】既存住宅の高断熱化を促進するため、住宅の一部(窓、床、壁、天井・屋根)を断熱改修する費用の一部を補助。その他の要件等詳しくは仙台市ホームページを参照。

■環境局脱炭素政策課
☎022-214-8682



医療費助成

- 中学3年生まで入院・通院に係る医療費(保険診療に限る)の自己負担額を助成。小学生・中学生は一部負担金あり。一部負担金は、通院で初診・初検料算定時500円、入院は1日500円(最大10日分)。所得制限なし。令和8年4月1日より対象者が18歳到達後最初の3月31日まで拡大。また、一部負担金が廃止されます。

■子ども若者局子ども支援給付課
☎022-214-8202



- 障害のある方に対し、保険診療による医療費の自己負担額の全部または一部を助成。(身体・知的・精神障害者対象。障害程度、所得による要件あり)

■健康福祉局障害企画課
☎022-214-6135



子育て支援

【出産育児支援金】

- 健康保険から出産育児一時金の支給を受けた方を対象に、お子さん一人につき9万円を支給します。

■子ども若者局子ども支援給付課
☎022-214-2134



【育児費用負担軽減】

- 子育てに役立つ育児用品や仙台ゆかりの品などが選べる3万円分のオンラインのカatalogギフトを送付し、子どもが生まれた家庭を祝福する。

■子ども若者局子育て応援都市推進課
☎022-214-2129



【生活支援】

- 子育てに関する行政サービスのほか、子育て関連施設やお子さんとお出かけしやすいお店のマップ、親子で楽しめるイベント等、さまざまな情報をウェブ/アプリで発信。

■子ども若者局子育て応援都市推進課
☎022-214-2129



- 就労等により放課後等に保護者が家庭にいない小学生の児童を対象に、児童館等において適切な遊びや生活の場を提供。

■子ども若者局児童クラブ事業推進課
☎022-214-8176



- 妊娠・出産・子育てに関する各種制度や事業のご案内のほか、妊娠中から子育て期に渡り必要となる健康に関する情報を「子育てサポートブックたのしねっと」で発信。

■子ども若者局子ども家庭保健課
☎022-214-8606



【交流・相談支援】

- 子育てふれあいプラザ等(のびすく)において、乳幼児親子の交流の場の提供、乳幼児の一時預かり、子育てに関する相談支援等、情報提供等を実施。

■子ども若者局子育て応援都市推進課
☎022-214-2129



- 市内27か所に設置している保育所等地域子育て支援センター(室)で、育児に関する専門的な機能を生かし、気軽に利用できる育児相談などの育児支援事業を無料で実施。

■子ども若者局運営支援課
☎022-214-8487



就学・教育支援

- 第3子以降の児童が小学校に入学した場合に、仙台市内に住所を有する保護者等に対し、祝金3万円を支給。(要申請)

■子ども若者局子ども支援給付課
☎022-214-2133



- 経済的理由のため就学困難な公立小・中学校の児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費等を援助する就学援助を実施。

■教育局学事課
☎022-214-8861



就職支援

- 就職・転職お役立ちポータルサイト「仙台で働きたい!」を通じ市内の企業情報等を発信。



- 首都圏在住の社会人のUIターン転職促進を目的として、動画メディア「CROSS SENDAI」を通じた情報発信及びオンライン・リアルイベントを開催。



- 仙台市の産業を担う人材の確保・若者の地元定着を目的として、認定を受けた企業への就職を条件に、入社後3年間の奨学金返還を支援。



- 東京23区に在住、または東京圏に在住で23区内に通勤する方が仙台市内に移住し、対象求人へ就業する等の一定条件を満たす場合に、移住支援金(単身60万円、世帯100万円、18歳未満の世帯員1人につき100万円加算)を支給。

■経済局商業・人材支援課
☎022-214-1007



- 「SENDAI INC.」を通じた市内IT企業等に関する情報発信。
- 首都圏等のIT人材のUIターンを推進するイベントを開催。

■経済局イノベーション企画課
☎022-214-8263



起業支援

- 新事業創出支援融資(起業家支援資金)による開業資金の貸付。

■経済局中小企業支援課
☎022-214-1003



- 仙台市起業支援センターアシ☆スタによる起業相談・起業支援情報の発信。



- 「仙台スタートアップスタジオ」ポータルサイトを通じたスタートアップに関する情報発信。



- 仙台・東北での起業を促進するため、専門スキルを持った人材と仙台・東北の起業家のマッチングイベントを首都圏で開催。



■経済局スタートアップ支援課
☎022-214-8278

就農支援

- 6次産業化に係る総合的な支援



- せんだい農業園芸センターみどりの杜での栽培技術・農業経営等に関する研修。

■経済局農業振興課
☎022-214-8266



【認定新規就農者向け】

- 小規模農業用機械導入費用の一部を助成(事業費の1/2、上限額10万円)

- パイプハウス設置費用の一部を助成(上限額あり)

■経済局農業振興課
☎022-214-7327



その他

結婚支援

- 結婚に伴う新生活を支援するため、新婚世帯を対象に新生活のスタートアップにかかる費用(家賃や引越費用等の住宅に関する費用)を補助。



■こども若者局若者支援課
☎022-214-8442

パートナーシップ宣誓制度

- 互いを人生のパートナーとし、継続的な共同生活を営んでいる又は継続的な共同生活を営むことを約した、一方又は双方が性的マイノリティであるお二人が、市に対して宣誓を行い、市が受領証などを交付する。

■市民局男女共同参画課
☎022-214-6143



仙台エリア

しおがまし

塩竈市



お問い合わせ

●塩竈市総務部秘書広報課シティプロモーション係
☎022-355-5062
〒985-8501
宮城県塩竈市旭町1番1号



ホームページ

海と社(やしろ)に育まれる 楽しい塩竈

塩竈市は宮城県のほぼ中央、仙台市と日本三景で知られる松島との中間に位置しています。陸奥国一之宮として1,200年以上の歴史がある鹽竈神社の門前町として、また国内有数の港町として栄えてきました。

新鮮な海の幸を使った寿司店が数多く並び、地酒や笹かまぼこ、藻塩を使ったスイーツなど食のまちとしても魅力的です。また、古くから松島観光の玄関口としても知られており、「奥の細道」には松尾芭蕉が塩竈から松島へ舟で渡ったことが綴られています。



〈塩竈みなと祭〉「日本三大船祭り」の一つ。御神輿を乗せた船が松島湾を巡幸。



〈塩釜水産物仲卸市場〉新鮮な魚介類と豊富な食材が勢揃いしています。



生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車:JR仙台駅～本塩釜駅(JR仙石線) 29分
JR仙台駅～塩釜駅(JR東北本線) 17分
- ・車:国道45号線 約40分

地域内の
移動手段

市内にはJR仙石線の駅が3つ、JR東北本線の駅が1つあり仙台市からのアクセスも良く、とても便利です。市内循環バスとして「しおナビバス」と「NEWしおナビバス」が運行しています。

こんな人におすすめ!／

寿司に目が無い方

のびのびと子どもを
育てたい方

島遊びを
楽しみたい方



空き家情報

- 空き家を「売りたい」「貸したい」とお考えの所有者に物件を市に登録していただき、空き家を「買いたい」「借りたい」とお考えの利用希望者に情報提供する制度(市では売買等に関する交渉及び契約等の媒介行為は行わない。)

■まちづくり・建築課 ☎022-364-2510

住宅取得支援

- 子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業：市外から転入し、市内に新たに住宅を取得し居住する方のうち、一定の条件を満たした方に住宅取得費を補助(上限あり)

■秘書広報課 ☎022-355-5062

- 地域優良賃貸住宅：子育て世代(18歳未満の子供のいる世帯)を対象とした家族世帯向け賃貸住宅を運営

- 所有者が空き家バンク制度に登録する空き家の住宅状況調査を行う際、その調査経費を補助する(上限あり)

■まちづくり・建築課 ☎022-364-2510



医療費助成

- 塩竈市子ども医療費助成制度：子どもが健康保険を利用して、医療機関等を受診された場合や保険薬局で薬を受け取った場合に、入・通院にかかる医療費の自己負担額を助成

■保険年金課 ☎022-355-6519

出産支援

- “こんにちは赤ちゃん”誕生祝いギフト贈呈事業：塩竈市で生まれた赤ちゃんとその家族を祝福し、お子様の健やかな成長を願い、お祝いギフトを贈呈

■子ども未来課 ☎022-355-7610

子育て支援

- 地域子育て支援センター事業：乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供

■子ども未来課
(塩竈市子育て支援センター「こころん」)
☎022-363-3630

- ファミリーサポート事業：子どもを預かってほしい方、預かることのできる方の相互の信頼関係のもとに子育てを助け合う事業

- 藤倉児童館運営事業：子どもたちに健全な遊びを与え、児童の健全育成を促進し、情操を豊かにするための施設として、児童館を自由解放

■子ども未来課(ファミリーサポート事務局)
☎022-363-3631

- 放課後児童クラブ運営事業：保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生の児童を対象に、児童健全育成を図ることを目的とし、授業終了時間に合わせて各学校で開設

■子ども未来課(子ども企画係)
☎022-355-7610



起業支援

- 塩竈市シャッターオープン・賑わい支援事業：商業地域の空き店舗1階を賃借し起業する方(一部既起業者含む)で、地域資源を活用または商業復興、にぎわい創出に寄与する事業をする方を支援(諸条件、審査選考あり)

- 塩竈市商人塾：市内の商店主や塩竈で起業をお考えの方を対象に、商店の底力をつける実践的な講座や地域に根差した持続的な商売のヒントを学ぶ講座を実施

■商工観光課 ☎022-364-1124

その他

結婚支援

- 塩竈市婚活支援補助事業：結婚を希望する方々の新たな出会いを応援するため、『みやぎ結婚支援センター「みやマリ」』への入会登録料を一部補助します。

■政策課 ☎022-355-5631

- 塩竈市新婚さんいらっしやい事業：塩竈市に婚姻届を提出した世帯へ結婚祝金を支給します。

■秘書広報課 ☎022-355-5062



なとりし 名取市



お問い合わせ
●名取市企画部なとりの魅力創生課魅力創生係
☎022-724-7182
〒981-1292
宮城県名取市増田字柳田80



ホームページ

■名取市暮らしのデータ

- 人口: 79,705人
- 世帯数: 34,139世帯
- 保育施設等の数: 27所
- 小学校の数: 11校
- 中学校の数: 5校
- 病院の数: 4院
- 一般診療所の数: 49所

令和7年4月1日時点

豊かな自然と便利な生活空間に 包まれた快適で住みやすいまち

名取市は、宮城県の中央部に位置し、東北の中核都市である仙台市に隣接しています。仙台駅まで電車で約13分という環境にありながら、東は太平洋に面し、西部には広大な山並みが広がるなど豊かな自然に囲まれ、冬でも雪が少ない温暖な気候もあって、快適で過ごしやすいまちが形成されています。また、郊外型の商業施設が多く立地しており、買い物や生活にも便利で住みやすいまちです。

〈仙台空港〉
運営の民営化により
ますます発展を続ける
東北の空の玄関口



〈かわまちてらす関上〉
名取川沿いの新たな
商店街。川辺のテラス
で飲食も楽しめる憩
いの場



生活交通情報

仙台市 との 距離感

- ・電車: 約13分 (JR仙台駅～名取駅 (東北本線、仙台空港アクセス線))
- ・車: 約30分 (国道4号線)

地域内の 移動手段

- ・電車: JR東北本線、仙台空港アクセス線が通っており、市内に5つの駅がある
- ・バス等: 乗合バス「なとりん号」と、デマンド交通「なとりんくる」が運行
一部地域では宮城交通のバスが運行
- ・車: 仙台東部道路へ繋がる名取ICと名取中央SIC、仙台空港ICが市内にあり、東北自動車道へ繋がる仙台南ICには名取駅から車で約25分

＼こんな人におすすめ！／

日常生活の利便性が高く、
首都圏や海外へのアクセス
も便利な場所に住みたい。

海や山、緑が多い自然環境
豊かなまちで生活したい。

保育施設や公園が多く、
子育てに力を入れている
まちで子育てしたい。

住まい

空き家情報

- 空き家の情報をホームページ等で紹介
- なとりの魅力創生課 ☎022-724-7182

住宅取得支援

- 市が指定する特定エリアに新たに住宅を
購入した世帯に補助金を交付します。
- なとりの魅力創生課 ☎022-724-7182

子育て

医療費助成

- 子ども医療費助成制度
0歳～18歳に達する年の年度末までの児
童の健康保険適用の診療にかかる自己負
担額を、所得制限なく助成
- こども支援課 ☎022-724-7119

出産支援

- 産婦健康診査助成事業として、2回分 (産
後2週頃及び4週頃) の健康診査にかかる
費用を助成 (健診1回につき5,000円上限)
- 育児ヘルプサービスでは、出産後1年以内
を期間として、日中お父さんと保護者1名
だけで家庭の支援が受けられず家事や育
児が困難な家庭を対象に、ヘルパーを派遣
- こども支援課 ☎022-724-7119

子育て支援

- 病後児保育事業では、病気が回復してきて
いるが安静が必要な時期に、専用の保育室
で看護師・保育士が子どもをお預かりする
サービスを実施
- こども支援課 ☎022-724-7181

就学・教育支援

- 市内の公立中学校に通う生徒 (義務教育
学校7年生から9年生を含む) を対象とし
て、給食費を全額免除 また、市内在住の
私立中学校等に通う生徒の保護者に対
して給食費相当額を助成
- 市内には小学校が10校、中学校4校、
義務教育学校が1校あり、義務教育学校
である関上小中学校では、市内全域か
ら生徒の受け入れを行っている
※義務教育学校: 小学校から中学校までの
義務教育9年間を一貫して行う学校 (設置
者によって教育課程等を柔軟に運用する
ことが認められている) なお、「生活情報」
の数には小学校、中学校それぞれ1校ずつ
で計上している
- 学校教育課 ☎022-724-7172

仕事

起業支援

- 市内の空き店舗を活用し、小売業や飲食
業など市の指定する業種で、これから創
業・開業する方に補助金を交付する。
- 商工観光課 ☎022-724-7150

- 市内にある空き家住宅を活用して起業す
る方に対して、事業費の2分の1 (上限100
万円) を補助します。
- なとりの魅力創生課 ☎022-724-7182

就農支援

- 市内で新規に農業を始めたい方に対して、
その就農形態に応じた就農相談、情報提
供等の支援を実施。
- 農林水産課 ☎022-724-7153

その他

結婚支援

- AIを利用したマッチング等を行っている
「みやぎ結婚支援センター (みやマリ!)」
入会登録料の一部を補助
- なとりの魅力創生課 ☎022-724-7182

たがじょうし
多賀城市



お問い合わせ
●多賀城市企画経営部企画課
☎022-368-2290
〒985-8531
宮城県多賀城市中央2丁目1番1号



ホームページ

■多賀城市暮らしのデータ

- 人口: 61,819人
 - 世帯数: 28,843世帯
 - 保育施設等の数: 27所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 4校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 37所
- 令和7年4月1日時点

日々のよろこびふくらむまち
史都 多賀城

宮城県のほぼ中央に位置して生活利便性が高く、日本三大史跡の一つである多賀城跡など多数の歴史遺産を有し、歴史や自然を身近に感じられるまちです。

2016年にはJR仙石線多賀城駅前に民間の書店やカフェを併設する市立図書館がリニューアルオープンし「東北随一の文化交流拠点」づくりを進めています。

古来多くの人と文化が行き交ったこの歴史ある地で、文化やアートに触れ、誰もがよろこびや楽しさを見つけられるまちづくりに取り組んでいます。



〈多賀城碑〉
多賀城の創建を刻む石碑で日本三古碑の一つにも数えられ、国宝にも指定されています。

〈多賀城跡あやめまつり〉
毎年6月中旬～下旬頃に行われ、800種300万本のアヤメ、ハナショウブ、カキツバタが咲き誇ります。



生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約20分 (JR仙台駅～多賀城駅 (仙石線))
- ・車: 約30分 (国道45号線)

地域内の
移動手段

- ・電車: JR仙石線とJR東北本線の2路線が通っており、市内外に利用可能な駅が7つあります
- ・バス: 市内を7路線 (多賀城東部線、多賀城西部線、汐見台団地線、NEWしおナビバス七ヶ浜町民バスぐるりんこ、荒井多賀城線) が運行しています

／こんな人におすすめ!／

歴史が好きな方

身近に文化・芸術を感じて暮らしたい方

通勤・通学の便が良いところに住みたい方

住まい

リフォーム支援

- 耐震改修費用の一部を補助
耐震改修工事のみ実施する場合: 工事費の4/5 (限度額100万円)
耐震改修工事に加えその他改修工事 (リフォーム工事) を実施する場合: 工事費の22/25 (限度額110万円)
- 都市計画課 ☎022-368-4242

子育て

医療費助成

- 満18歳を迎えた最初の3月31日までの入院及び通院の自己負担分を助成 (生活保護受給者及び婚姻歴がある方を除く)
- 国保年金課 ☎022-368-1697

出産支援

- 母子健康手帳の交付、妊産婦健診助成券交付、産前産後サポート事業 (ハッピー♥パパママ学級)、産後ケア事業、妊婦歯科健康診査
- 子ども家庭課 ☎022-368-1109

相談・交流支援

- こども家庭センターでは、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援・相談受付をワンストップで実施
- 食育講座、子どもの発育・発達支援 (1歳児 come☆かむ広場)、地域企業等との連携事業などを実施
- 電子母子手帳機能を備えた、たがじょう子育て応援アプリ「たがすく」を導入。予防接種スケジュール管理や医療機関・保育所施設検索、子育て支援情報がタイムリーに配信

たがじょう子育て応援アプリ
「たがすく」WEB版



- 母子保健サービスやライフステージごとに必要な情報等をまとめた「多賀城市子育て親育ちサポートブック」を配布
- 発育や発達、健康状態等の相談として保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士による「乳幼児健康相談」を月1回実施
- お子さんの月齢にあわせた「離乳食教室」を実施
- 子ども家庭課 ☎022-368-1109
- 子育てサポートセンター(すくっぴーひろば)では、未就学児とその保護者、妊婦とそのパートナーを対象に相談支援や一時預かり、子育てに関する情報提供等を実施
- 子育てサポートセンター ☎022-355-7085
- たがじょう子育てほっとライン
保健師、助産師による子育てに関する直通の電話相談ダイヤルです
- ☎022-368-1021

就学・教育支援

- 経済的理由により就学が困難な公立小・中学校に通う児童・生徒がいる世帯に対し、希望により、学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費、医療費等の就学援助を実施
- 教育総務課 ☎022-368-5022



起業支援

- 創業支援に係る各種相談受付
- 創業支援事業者との連携及び創業セミナー等の実施
- 創業支援補助金により起業、創業に係る初期投資費用の一部を補助
- 産業振興課 ☎022-368-4204

仙台エリア

いわぬまし
岩沼市



お問い合わせ

●岩沼市政策部まちづくり政策課
☎0223-23-0199
〒989-2480
宮城県岩沼市桜一丁目6番20号



移住に関するページ



ホームページ

岩沼市暮らしのデータ

- 人口: 42,960人
- 世帯数: 19,120世帯
- 保育施設等の数: 17所
- 小学校の数: 4校
- 中学校の数: 4校
- 病院の数: 5院
- 一般診療所の数: 25所

令和7年4月1日時点

交通アクセスに優れた 安心・便利で 過ごしやすいまち

岩沼市は、仙台市の南18kmに位置し、西の丘陵地帯から太平洋岸まで仙台平野が広がる雪が非常に少ない温暖な都市です。古くから交通の要衝として、宿場町、門前町、城下町として栄え、東北を訪れる方は必ず通ったと言われています。JR東北本線・常磐線、国道4号・6号の合流点であり、東北の玄関口である仙台空港が所在するなど、交通の便に優れた住みやすい街です。“子育て世代にとってNo.1のまち”を目指し、住みよいまちづくりに取り組んでいます。



〈日本三稲荷 竹駒神社〉祭事では神輿や稚児行列など、約700人がねり歩く。



〈グリーンピア岩沼〉市街地から車で約10分。緑に囲まれた空間で里山散策やスポーツを満喫。

動画もチェック!



生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約20分 (JR仙台駅～岩沼駅 (東北本線・常磐線))
- ・車: 約40分 (国道4号線)

地域内の
移動手段

- ・市民バス (1回乗車200円、1日フリー乗車券400円)
- ・AI乗合バス (1回乗車300円、1日フリー乗車券700円)
- ・デマンドタクシー (1回乗車300円、1日フリー乗車券600円)
- ・車: 岩沼IC (仙台東部道路) まで市中心部から車で約5分

こんな人におすすめ! /

通勤・通学に便利
なところに暮らしたい方

充実した
子育て支援・教育環境の
中で暮らしたい方

充実した
医療環境の中で
安心して暮らしたい方

移住者たちの声を知りたい方はこちらをCheck! /

M みやぎ移住・交流ガイド

エリア情報や、仕事情報、移住者インタビューなど宮城での暮らしがイメージできるコンテンツ満載です。

<https://miyagi-ijuguide.pref.miyagi.jp/>



宮城県の暮らしを
ぜひ動画でもご覧ください。





住宅取得支援

- 雨水貯水タンク設置補助金:購入及び設置に要した費用の1/2を補助(上限2万5千円)
- 上下水道経営課 ☎0223-23-0846
- 脱炭素推進設備導入補助金:自らが居住する住宅等に、太陽光発電システム・定置用蓄電池・エネファーム・エコキュート・V2H充放電設備を設置する個人への補助
- 電動車導入補助金:現に使用しているガソリン車等から、燃料電池自動車・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車へ切り替えた個人への補助
- 生活環境課 ☎0223-23-0584



医療費助成

- 0歳から18歳到達年度の末日までの保険適用の入院、通院、訪問介護及び薬代に係る自己負担額を助成(所得制限なし)
- 子ども福祉課 ☎0223-23-0529
- 身体障害者手帳1～3級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳「A」をお持ちの方、療育手帳「B」をお持ちで知的障害者福祉法に定める職親に委託されている方、特別児童扶養手当の障害程度が「1級」に該当する方
上記要件に該当する方に保険診療による自己負担額を助成(詳細は窓口へ要確認)
- 社会福祉課 ☎0223-23-0509

妊娠・出産・乳幼児への支援

- 不妊検査費・不妊治療費助成(市独自上乗せ助成あり)
- 妊婦健康診査費用助成*
- 妊婦歯科健康診査費用助成
- 妊婦のための支援給付
- 妊婦等包括相談支援事業
- 新生児聴覚検査費用助成*
- 産婦健康診査費用助成*
- 新生児・妊産婦訪問
- 産後ケア事業
- 乳幼児健康診査
- 発達・育児に関する相談、専門相談
- 子育てアプリによる情報発信、予防接種進捗管理等の支援
- おむつ“あんしん”お届け隊事業(令和7年10月開始)
- ※:県外助成あり
- こども家庭センター ☎0223-22-1116

子育て支援

- 第2子以降の保育料無償化
- 3才以上児での米飯無償提供
- 長期休業期間における放課後児童クラブへの弁当配送
- 子ども福祉課 ☎0223-23-0826
- おたふくかぜ予防接種費用助成*
- 定期予防接種費用助成*
- 中学3年生インフルエンザ予防接種費用助成
- 法定外風しん予防接種費用助成
- ※県外助成あり
- 健康増進課 ☎0223-23-0410
- 出産後の家庭をボランティアが訪問し、子育て支援情報の提供や、子育てについて相談にのるなど、地域で子育てを支援

- 転入してきた親子を対象に、市内の子育て関連施設やカフェ等の紹介を行い、親同士の交流を図る「welcomeサロン」を年3回開催
- 「Happy チャイルドカレンダー」(月間)や「子育てガイドブック」(年刊)を通じて、子育て支援情報を発信
- すべての小学校区ごとに子育て支援センターを設置し、乳幼児親子への遊び場の提供と交流の促進
- 未来のお子さんへ向けてメッセージカード作りとエフエムいわぬまと一緒にメッセージを収録してCDにする「ママ記念日」を年4回開催
- 子育て支援センター ☎0223-36-8762

こども・子育て支援パッケージ

第1弾



第2弾



就学・教育支援

- 児童生徒全員にタブレットを配布し、AIドリル活用などICT環境を生かした学習教育を支援
- 小中学生の学習習慣と基礎学力の定着を目的とした「岩沼学び塾」を開設
- 登校が難しい状況にある児童生徒やその保護者の方々を支援し、児童生徒の自立や学校復帰を目的とする「いわぬま子どもの心のケアハウス」を設置
- スクールバスを運行(エリア限定)
- 学校教育課 ☎0223-23-0728
- 第3子以降のこどもに対する小学校等入学祝金(3万円)
- 子ども福祉課 ☎0223-23-0529



就職支援

- ハローワーク仙台と連携した出張ハローワーク、合同企業説明会等を実施
- 産業振興課 ☎0223-23-0573

起業支援

- 岩沼市商工会等の支援機関と連携し、相談受付や創業希望者への経営計画作成を支援
- 創業希望者が試しに実際の店舗形式で「商い」を経験するチャレンジショップを実施
- 産業振興課 ☎0223-23-0573

就農支援

- 経営開始資金:新規就農者に交付(最大150万円/年、最長3年間)
- 農林業奨励補助金:出荷・販売をしている農業者等に事業費30万円～100万円の1/3を助成
- 産業振興課 ☎0223-23-0537

とみやし 富谷市



お問い合わせ
●富谷市企画部企画政策課地域経営担当
☎022-358-0517
〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地



ホームページ

■富谷市暮らしのデータ

- 人口: 52,411人
 - 世帯数: 20,817世帯
 - 保育施設等の数: 19所
 - 小学校の数: 8校
 - 中学校の数: 5校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 27所
- 令和7年4月1日時点

「住みたくなるまち日本一」を目指して

宮城県のほぼ中央部、仙台市の北隣に位置する富谷市は、約400年前に伊達政宗公の命により開宿した奥州街道の宿場町「富谷宿」を起源として発展し、2016年に市制施行により「富谷市」となりました。豊かな自然、新興住宅地、商業施設、子育て環境などが整備されており、住み良さに関して高い評価を得ています。

市ではまちづくりの将来像に掲げる「住みたくなるまち 日本一」の実現に向けて各種施策に取り組んでいます。



〈特産品ブルーベリー〉
毎年7月に市内ケーキ店の協力でブルーベリースイーツフェアを開催しています。

〈富谷宿観光交流ステーション(とみやど)〉
地域の歴史的な資源や背景を活かした観光交流の拠点となっています。



生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車+バス: 約45分(仙台市営地下鉄南北線仙台駅～泉中央駅(15分)+路線バス)
- ・車: 約35分(国道4号線)

地域内の
移動手段

- ・バス: 路線バスに加え、コミュニティバス(市民バス・1回乗車100円)を運行
- ・車: 富谷市役所から東北自動車道の泉ICまで約15分・大和ICまで約10分、仙台北部道路富谷ICまで約5分
- ・その他: 一部地域でデマンド型交通を運行

＼こんな人におすすめ!／

利便性が高く、
住みごこちの良い環境で
暮らしたい方

保育施設や子育て支援
が充実した環境で
暮らしたい方

地域コミュニティ活動や
まちづくりに興味のある方

子育て

医療費助成

- 入院・通院に掛かる医療費を18歳まで助成(所得制限なし、一部自己負担なし)
- 子育て支援課 ☎022-358-0516

出産支援

- 妊娠期から子育て期まで支援を受けられるよう、ワンストップ拠点「子育て支援センター」を活用し、各種健診や教室、総合的な相談や支援、交流の場の提供を実施
- とみや子育て支援センター「とみここ」
☎022-343-5528

就学・教育支援

- 富谷市出身で高等学校、高等専門学校、大学、短期大学、専修大学(専門課程)に在学する学生向けに無利子の奨学金貸付を実施
- 教育総務課 ☎022-358-3196

仕事

起業支援

- 富谷市まちづくり産業交流プラザで市民の想いを実現するための新しいスタイルの起業塾「富谷塾」を実施
- (株)日本政策金融公庫の創業支援関係融資に係る利子相当額(上限額10万円)を3年間補助
- 市内の空き店舗等を利用する新規創業者に対して店舗取得費・改装費(初年度のみ)の1/2以内を補助(上限額100万円)
〈令和2年4月1日～令和8年3月31日〉
- 市内の空き店舗等を利用する新規創業者に対して店舗等賃貸借料月額の1/2以内(上限額2万円)を36ヶ月補助
〈令和2年4月1日～令和8年3月31日〉
- 産業観光課 ☎022-358-0524

その他

結婚支援

- 黒川地区の市町村が連携して、毎月結婚相談所を開設。相談は専門のアドバイザーが行い、結婚に関する情報の提供、結婚の相談ならびに結婚相手の紹介を実施
- 富谷市農業委員会 ☎022-358-0523

外出支援

- 重度の障がいや要介護状態にある方に対して、年額1万8千円を上限としてタクシー利用券を助成
- 地域福祉課 ☎022-358-3294
- 高齢者や障がいのある方に対して、バス・地下鉄等の運賃を年間2万円分を上限(うち1割は自己負担)に助成する外出支援乗車証を交付
- 長寿福祉課 ☎022-358-0513
地域福祉課 ☎022-358-3294
- 重度の障がいがある方に対して、年額1万8千円を上限として自動車燃料費を助成。
- 地域福祉課 ☎022-358-3294

わたりちょう 亘理町



■亘理町暮らしのデータ

- 人口: 33,646人
- 世帯数: 13,265世帯
- 保育施設等の数: 14所
- 小学校の数: 6校
- 中学校の数: 4校
- 一般診療所の数: 27所

令和7年3月31日時点

お問い合わせ

●亘理町企画課企画班

☎0223-34-0505

〒989-2393

宮城県亘理郡亘理町字悠里1番地



ホームページ

都会と田舎のいいとこどり亘理町ライフ

この町の魅力はなんといっても、四季折々で楽しめる「食」にあります。その代表格が、亘理町発祥の「はらこめし」。その味は、全国の食通たちをうならせるほどの逸品です。

また、サーフィンやカヌー、SUPなどのマリナクティビティを楽しむことができるほか、新たな町のイチ押しスポット「スケートボードパーク」もあります。そして、別名「美人の湯」と言われる海辺の天然温泉「わたり温泉鳥の海」は地元でも愛される温泉施設。温泉につかりながら亘理町ならではの景色が一望できます。



〈サーフィンスポット〉サーフィンを楽しむ人が多く見られます



〈元祖はらこめし〉鮭のはらこ(いくら)と切り身、新米を味わう、秋の味覚郷土料理「はらこめし」

動画もチェック!



生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車: 約30分 JR仙台駅～JR亘理駅(JR常磐線)
- 車: 約40分(長町IC(仙台南部道路)～亘理IC(常磐自動車道)～国道6号)

地域内の移動手段

- 電車: JR常磐線が通っており、町内には逢隈駅・亘理駅・浜吉田駅の3駅がある
- 車: 常磐自動車道亘理ICまで車で約10分、常磐自動車道鳥の海SICまで車で約5分
- バス: 町民バス「さざんか号」(1回乗車200円)
- デマンド型乗合タクシーわたりん号(1回一般400円、小中学生・75歳以上200円、未就学児無料)

※わたりん号は、障がい者の方およびその介助人は上記の半額、65歳以上で運転免許証を自主返納し、かつ運転免許証の取消通知書または運転経歴証明書をお持ちの方は、利用登録時から以降1年間は無償で利用可能です。また、妊娠中の方で母子健康手帳を交付された方は、利用登録時に提示することで母子健康手帳交付の日から1年間は無償で利用可能です。

こんな人におすすめ! /

海・山・川の自然を
楽しみたい方

充実した子育て支援・
環境を望む方

温泉が好きな方

住まい

空き家情報

- 町内の空き家について売却、賃貸を希望される方から申請を受け、物件調査を行い、登録可能となった物件を町及び協力事業者(不動産業者)のホームページに掲載し、購入や賃借を希望される方への橋渡しを行います。

■町民生活課 ☎0223-34-1113

その他

- 住宅設備自然エネ・省エネ導入補助
住宅用太陽光発電設備、定置用蓄電池、燃料電池システム、高効率給湯器といった自然・省エネ機器等の導入に対する補助。

■町民生活課 ☎0223-34-1113

子育て

医療費助成

- 入・通院の医療費について、高校3年生まで自己負担分(保険適用分)を助成します。

■子ども未来課 ☎0223-34-1225

出産支援

- 妊婦歯科健康診査助成
母子健康手帳別冊内の受診票を利用すると、指定医療機関(亘理町、山元町、岩沼市、名取市)で妊娠中に無料で歯科健康診査を受診することができます。

- プレママ・パパ教室
妊娠中の過ごし方や、出産、産後の生活について、沐浴の仕方や妊婦ジャケット等の体験を交えて、一緒に学びあい地域の子育て仲間づくりを行います。

- 産後ケア事業
産後1年未満の産婦とお子さんを対象に沐浴や授乳方法の指導、育児相談、休養支援などのサービスを医療機関等に委託して提供しています。

■健康推進課 ☎0223-34-0524

■こども家庭センター ☎0223-34-7505

子育て支援

- 妊婦のための支援給付金
妊娠している方(妊娠届出後に5万円、妊娠しているお子さんの人数×5万円)へ給付します。

- わたりっこ未来応援金
第2子2万円、第3子以降3万円を給付。支給対象児童は、令和5年4月1日以降に出生し、出生後から引き続き本町に住民登録している児童。

- 子育て応援わたりんナビ
亘理町子育て応援アプリに登録すると子育てに関する情報や相談の予約ができます。

- 子育て支援
・町内に住所のある方に加え、出産(妊娠中)予定・転入予定の方も保育施設への入所を申し込むことが可能です。年度内は随時受付を行っていますが、翌年度の入所申込書の受付は10月～11月頃です。

※詳しい申込方法は子ども未来課へお問い合わせください。

- 優遇措置
・町内の認可保育所等で保育士として働く方で、お子様の保育所入所を希望する方は優遇措置あり。(優遇措置を適用しても家庭状況により入所できない場合あり)保育士の求人に関する情報は、ハローワークや町ホームページでご確認ください。

■子ども未来課 ☎0223-34-1225

■こども家庭センター ☎0223-34-7505

- 18歳になった後の最初の3月31日までの子どもの国民健康保険税の均等割額全額減免
亘理町独自施策として、子育てに係る経済的負担を軽減することを目的に国民健康保険に加入する18歳になった後の最初の3月31日までの子どもの国民健康保険税の均等割額(医療分・後期高齢者支援金等分)を全額減免します。

■健康推進課 ☎0223-34-0501



起業支援

- 新規事業者の発掘、地域商業の振興を図ることを目的とし、起業家等に対し店舗の整備費及び賃借料の一部を助成。
※助成要件あり
 - 店舗の整備費の2分の1以内(上限:80万円)店舗賃借料の2分の1以内(月額上限:5万円)期間は12ヶ月。
 - 町内で事業を営んでいる事業主、商店主に事業資金として中小企業振興資金を融資斡旋。融資額は上限1,000万円、融資利息2.35%で保証料は全額町補助。
- 商工観光課 ☎0223-34-0513

就農支援

- 農業者の確保・育成することを目的に、町外から本町に住民登録し認定新規就農者となって本町で農業に従事し、居住用として住宅を賃借した者を対象に、月額賃貸料の2分の1以内、3万円を上限に最大3年間補助。
- 農林水産課 ☎0223-34-0503

就漁支援

- 漁業者の確保・育成することを目的に、町外から本町に住民登録し県が実施する長期研修を受けた後本町で漁業に従事し、居住用として住宅を賃借した者を対象に、月額賃貸料の2分の1以内、3万円を上限に最大3年間補助。
- 農林水産課 ☎0223-34-0503

その他

結婚支援

- 新婚世帯を対象として住宅取得費やリフォーム代などを補助。最大60万円。婚姻時の年齢が39歳以下で、世帯の所得が500万円未満などの要件あり。
- 町民生活課 ☎0223-34-1113

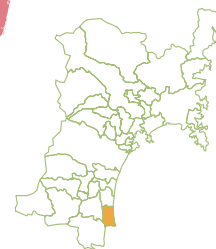
その他

- クリーンエネルギー自動車購入補助
電気自動車、プラグインハイブリッド車の購入に対する補助。
- 町民生活課 ☎0223-34-1113

仙台エリア

やまもとちょう

山元町



お問い合わせ

●山元町子育て定住推進課子育て定住推進班
☎0223-36-9835
〒989-2292
宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山32



移住に関するページ



ホームページ

■山元町暮らしのデータ

- 人口:11,393人
- 世帯数:4,907世帯
- 保育施設等の数:4所
- 小学校の数:4校
- 中学校の数:1校
- 病院の数:1院
- 一般診療所の数:6所

令和7年3月31日時点

自然に囲まれて、心ほどけるまち

宮城県の東南端に位置し、東に太平洋を望み、西に阿武隈山地が広がる温暖で自然豊かな暮らしやすい町です。電車(JR常磐線)、高速道路(常磐自動車道)が通り、交通アクセスも便利です。

特産のいちご、りんご、ぶどう(シャインマスカット)、ホッキ貝は人気が高く、地元の新鮮な農水産物の直売所「やまもと夢いちごの郷」もあります。

「子育てするなら山元町」をスローガンに、県内最高水準の住宅取得補助に加え、さまざまな子育て支援に取り組んでいます。



「やまもとひまわり祭り」被災した広大な農地一面に咲く景色は圧巻。摘み取りもできます。



「深山山麓少年の森」令和7年7月リニューアル!親子で自然の中で思いっきり遊ぼう!

生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車:約45分 JR仙台駅～山下駅、約50分 JR仙台駅～坂元駅(JR常磐線)
- 車:約25分(長町IC(仙台南部道路)～山元IC(常磐自動車道))、約25分(仙台東IC(仙台東部道路)～山元IC(常磐自動車道))

地域内の移動手段

- 電車:JR常磐線が通っており、町内には2つの駅がある
- バス:町民バス(3路線)を運行
- その他:デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人におすすめ!／

自然に囲まれた環境で生活したい方

広い敷地のマイホームを持ちたい方

充実した子育て支援と環境を望む方



空き家情報

- 空き家バンクを設置し、空き家、空き地の情報や登録・利用方法をホームページで紹介しています。

山元町空き家バンク



■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

住宅取得支援

- 町内で住宅を新築または購入(中古住宅を含む)し、移住・定住する新婚世帯や子育て世帯等を対象に最大300万円の補助金を交付します。※各種要件はホームページで紹介しています。

山元町移住・定住支援補助金
(住宅取得奨励事業)



■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

リフォーム支援

- 新婚世帯と子育て世帯を対象に、最大50万円の補助金を交付します。(上記住宅取得支援制度(中古住宅)との併用も可能です)※各種要件はホームページで紹介しています。

山元町移住・定住支援補助金
(住宅リフォーム支援事業)



■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835



医療費助成

- 18歳の年度末までの子の外来通院及び入院の自己負担分(保険診療分)を助成
- 母子・父子家庭で、子どもが18歳までの外来通院及び入院の自己負担分を助成します。(所得制限や一部負担あり)

■健康推進課 ☎0223-36-8660

障がい者医療費助成

- ・身体障がい者手帳1、2級及び3級(内部疾患)をお持ちの方
- ・療育手帳Aの交付を受けている方、また療育手帳Bの交付を受け職親に委託されている方
- ・特別児童扶養手当1級に該当する方
- ・精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方

■地域福祉課 ☎0223-37-1113

出産支援

- 妊婦のための支援給付金を2回に分けて支給します。
- ・1回目(妊娠届出時等)妊婦1人あたり5万円
- ・2回目(妊娠しているこどもの人数届出後)5万円
- 出生後の短期間に必要となるベビーバスとベビーベッドを無償で貸し出します。
- ・ベビーバス(3か月)
- ・ベビーベッド(12か月)

※出生予定日の1か月前から貸し出し可

■こども家庭センター ☎0223-36-7644

- 町内店舗で紙おむつなどの育児用品の購入に利用できる「出産祝い育児支援チケット」を支給します。

・支給額:月額2千円×12月分 最大24千円分

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

- 産後の授乳指導や育児相談等が受けられるサービスの費用を助成します。

■健康推進課 ☎0223-36-8660

子育て支援

- 巨理町の小児科と連携し、病児・病後児保育の利用が可能です。
- 町内の私立幼稚園または認定こども園に入園する際の制服や学用品代として児童1人につき一律2万円を補助します。

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

- 子育て支援センターで育児相談・子育て関連講座・親子イベント等を開催

- ベビーマッサージや産後ヨガ講座が無料で受講できます。

- 子育ての支援をお願いしたい人と手伝いたい人をつなぐファミリー・サポート・センターを開設しています。

■こどもセンター ☎0223-36-7251

- 妊娠・出産から子育ての相談・包括的な支援を行うこども家庭センターを開設しています。

- 1歳6か月児健診時にオリジナル絵本をプレゼントします。

■こども家庭センター ☎0223-36-7644

就学・教育支援

- 家庭教育・幼児学級
小学校入学前に、同じ学校に通う友だちと一緒に活動し、入学への意識を高める取り組みをしています。

・6月、9月、2月(各小学校3回 計12回)

■生涯学習課 ☎0223-36-8948

- 第3子以降の小学校入学時に「入学祝い金」を児童1人につき3万円支給します。

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

- 町内の小・中学校の給食費を完全無償としています(所得制限無し)

■教育総務課 ☎0223-37-5115

山元町子育て支援サイト

「子育て応援お役立ち情報」



就農支援

- JA全農みやぎが、新たないちごの生産者を育成するため「いちごトレーニングセンター」を設置し、山元町を研修会場として、新規就農者研修を実施しています。詳細は下記ホームページをご覧ください。

新規就農者研修事業

「いちごトレーニングセンター」



■産業観光課 ☎0223-37-1119

相談・体験

移住情報サイト

- 山元町への移住を検討している方に、移住支援、空き家バンク、町の子育て支援、結婚支援などの情報をお知らせするサイトです。

■子育て定住推進課

☎0223-36-9835



その他

結婚支援

- 結婚新生活支援事業補助金
新婚世帯が婚姻に伴って新生活をスタートさせるために必要な費用を補助します。詳細は町ホームページをご確認ください。



- みやぎ結婚支援センター利用促進助成金
みやぎ結婚支援センター「みやまり!」登録料の全額を助成します。詳細は町ホームページをご確認ください。

■子育て定住推進課

☎0223-36-9835



まっしままち
松島町



お問い合わせ

●松島町企画調整課

☎022-354-5702

〒981-0215

宮城県宮城郡松島町高城字帰命院下一9番地の1



移住に関するページ



ホームページ

■松島町暮らしのデータ

■人口：12,842人

■世帯数：5,756世帯

■保育施設等の数：2所

■小学校の数：3校

■中学校の数：1校

■病院の数：1院

■一般診療所の数：7所

令和7年4月1日時点

世界に誇れる日本三景の魅力
大切な人を呼びたくなるまち

松島の風景は、広島宮島の宮島、京都の天橋立と並ぶ日本三景に数えられ、松尾芭蕉も扶桑第一の好風(日本第一のよい景色)として称えました。年間約300万人の観光客をお迎えする当町は、四季を通じて異なる景観を呈す自然美と歴史・学術的に価値の高い文化遺産が残り、海沿いは国の特別名勝に指定されています。

また、当町では、新たに起業される方へ支援を行っており、近年、カフェや民泊施設等が増えています。松島町は明るい笑顔と温かいおもてなしの心で皆様をお待ちしております。

▶動画もチェック！



〈松島湾〉四季折々の表情を見せる松島湾



〈松島の月〉松尾芭蕉も心ひかれた松島の月

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- 電車：約25分(JR仙台駅～松島駅(東北本線))
：約40分(JR仙台駅～松島海岸駅(仙石線))
- 車：約45分(宮城県道8号仙台松島線)

地域内の
移動手段

- 電車：東北本線と仙石線の2路線が通っており、町内には7つの駅がある
- バス：町民バス(1回乗車一般200円、小中学生100円、70歳以上無料)を4路線運行
- 車：三陸自動車道松島海岸ICまで車で約10分

＼こんな人におすすめ！／

アクセスのよい場所で
暮らしたい方

四季のイベントを
楽しみたい方

歴史・文化に
興味がある方

住まい

空き家情報

- 町内の空き家となっている家屋や賃貸住宅、宅地として利用できる土地等の情報を提供することにより、住宅、土地などを探している方にそれらの情報を提供し、空き家等の有効活用と地域の活性化を図る



■企画調整課 ☎022-354-5702

住宅取得支援

- 町内に新築住宅、もしくは中古住宅を取得し、町外から転入された方を対象に、住宅取得費の10%で50万円(中古住宅の場合は25万円)を上限として補助金を交付
さらに、町内業者を利用し建築等を行った場合は、50万円を加算し、最大100万円(中古住宅は最大75万円)を交付

■企画調整課 ☎022-354-5702

子育て

医療費助成

- 出生から18歳に達する日の属する年度末まで、通院・入院費の自己負担分を助成(保険診療分について対象。保険適用外については対象外)

■町民福祉課 福祉班 ☎022-354-5706

出産支援

- 妊婦のための支援給付金を2回支給。
1回目(妊娠届出時等)妊婦1人あたり5万円
2回目 胎児の人数1人につき5万円
- 不妊治療費の一部を助成。一般不妊治療については、1回の治療につき上限1万円。特定不妊治療(体外受精、顕微授精)については、1回の治療につき上限10万円。
- 妊婦健康診査受診票(助成券)を交付し、14回まで妊婦健診費用を助成(多胎の場合は6回追加)出産のため県外に里帰りし、自費で妊婦健診を受けた方に対して費用の一部を助成
- 赤ちゃんが生まれたら、全家庭に保健師や助産師が訪問し、お母さんやお子さんの健康、今後の健診や予防接種の受け方、心配なことなどの相談に応じる

■健康長寿課 健康づくり班

☎022-355-0703

子育て支援

- ベビーシート・チャイルドシートの無料レンタル
- 下校後に両親や祖父母が不在で子どもを見ることができない家庭で、町立小学校に在籍する1～6年生の児童を各開設場所で預かる
- 「仕事が忙しくて保育所や児童館へお迎えに行けない」等の事由により、子育ての手伝いを希望する利用会員と子育ての手伝いができる協力会員が子育てをサポート

■町民福祉課 子ども支援班 ☎022-354-5798

就学・教育支援

- 小学校(町内・町外・特別支援学校を含む)に入学した児童を養育する保護者の方へ入学祝金を支給

〈支給内容〉

小学生 第1子・第2子：2万円

小学生 第3子以降：3万円

中学生 一律：2万円

■町民福祉課 子ども支援班

☎022-354-5798



起業支援

- 町内産業の振興及び地域経済の活性化を図るため、新たに創業を目指す方へ創業を開始するまでの必要な経費の一部を最大100万円を補助金として交付
- 産業観光課 産業振興班
☎022-354-5707



移住相談窓口

- 松島町への移住・定住に係る相談を随時受付。
- 企画調整課 ☎022-354-5702



仙台エリア

しちがはままち 七ヶ浜町



お問い合わせ
 ●七ヶ浜町まちづくり振興課まちづくり推進係
 ☎022-357-7443
 〒985-8577
 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5番地1



ホームページ

■七ヶ浜町暮らしのデータ

- 人口: 17,458人
- 世帯数: 6,942世帯
- 保育施設等の数: 4所
- 小学校の数: 3校
- 中学校の数: 2校
- 一般診療所の数: 3所

令和7年4月1日時点

仙台近郊に位置する、 風光明媚な海のまち

七ヶ浜町は宮城県のほぼ中央、仙台市の東に位置し、北は松島湾、東と南は太平洋に面している、東北・北海道の市町村で最も小さな町です。美しい景観を数多く有し、気候も温暖。仙台市中心部から約20kmほどなので、通勤・通学にも快適な環境です。



〈舊蒲田浜〉夏は多くの海水浴客でにぎわいます。



〈多聞山〉松島四大観の1つ「偉観」と称される景観を一望できる多聞山。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車+バス: 約50分 (JR仙台駅～多賀城駅 (仙石線) 21分+多賀城駅バス停から町民バス「ぐるりんこ」を利用して、30分))
- ・車: 仙台駅から約40分 (国道45号線)

地域内の
移動手段

隣接する多賀城市・塩竈市の仙石線多賀城駅・下馬駅・本塩釜駅、東北本線国府多賀城駅から、七ヶ浜町に接続する路線バスがあります。生活上、自家用車の必要性は高い地域です。

／こんな人におすすめ!／

海が好きな方

コミュニティを
大切にしたい方

穏やかな気候で
暮らしたい方



空き家情報

- 空家の情報を町ホームページ上にて紹介



■まちづくり振興課 ☎022-357-7443



医療費助成

- 高校卒業の年度末までの児童の医療費を助成
- 子ども未来課 ☎022-357-7454

出産支援

- 妊婦健診費用、産婦健診費用、新生児聴覚検査費用を助成
- 子ども未来課 ☎022-357-7454

子育て支援

- 第3子以降の児童について小学校入学祝い金を支給
- 子ども未来課 ☎022-357-7454
- 子育て支援センター ☎022-362-7731

就学・教育支援

- 経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、給食費等の就学費用の一部を支給
- 教育総務課 ☎022-357-7440



仙台エリア

りふちょう 利府町



お問い合わせ

- 利府町経済産業部商工観光課シティセールス係

☎022-767-2120

F981-0112

宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地



移住に関するページ



ホームページ

■利府町暮らしのデータ

- 人口：35,789人
- 世帯数：14,533世帯
- 保育施設等の数：20所
- 小学校の数：6校
- 中学校の数：3校
- 病院の数：2院
- 一般診療所の数：17所

令和7年4月1日時点

『家族の暮らしにちょうどいいまち』

利府町は、子育て支援が充実。18歳までの医療費助成や小中学生の運動着支給のほか、小・中・高・地域が連携した「志」教育など独自のサービスも多数。また、グランディ・21や加瀬沼公園などの自然豊かな公園、大型ショッピングモール、病院なども充実しています。楽天イーグルスの2軍本拠地としてスポーツも盛んで、「杜の都」仙台、「日本三景」松島、「港町」塩竈などに「気軽にふらっと」足を運べる好立地。宮城県の中央に位置しており他の市町村への通勤、通学にも便利。『家族の暮らしにちょうどいいまち』です。

さらに、起業・市民活動・交流の拠点となる「tsumiki」を中心に、ワクワクするまちづくりを積極的に進めています。



〈グランディ・21〉アスレチックや大きなすべり台は子どもにも大人気。コンサートやスポーツイベントも多数開催



〈tsumiki〉おいしいパンや焼き菓子、かわいい雑貨が集まるマルシェも定期的開催

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車：約17分（JR仙台駅～利府駅（東北本線））
- ・車：仙台市役所から約40分（県道8号線（松島方面へ））、約30分（仙台宮城IC（東北自動車道）～利府塩釜IC（三陸自動車道））

地域内の移動手段

- ・電車：東北本線、仙石線が通っており、町内には3つの駅がある
- ・バス：路線バスに加え、町民バス（1回乗車100円）を運行
- ・車：町内には、利府塩釜IC・松島海岸IC・利府中IC（三陸自動車道）、利府しらかし台IC（仙台北部道路）の4つのICがあり、それぞれ町の中心部から最大で約15分
- ・利府町版mobi：利府町内の中心部を1回300円または月5,000円で自由に移動できる乗合型AIオンデマンド交通サービス



利府町版mobi

／こんな人におすすめ！／

充実した子育て支援・
教育環境を望む方

適度な自然・買い物・
医療環境を望む方

暮らしやすさ+ワクワク感の
住環境を望む方



空き家情報

- 利府町では空き家バンク制度を導入しており、町内の空き家の流通・活用を促進しております。



■商工観光課 ☎022-767-2120



医療費助成

- 18歳の年度末まで助成。所得制限なし。
- 子ども支援課 ☎022-767-2193

出産支援

- 「妊娠がわかったら」
母子健康手帳・妊婦健診・妊婦歯科健診・
里帰り出産のかた・子育てアプリ「りーふナビ」・各種講座など



- 「赤ちゃんが生まれたら」
新生児訪問・産後ケア・産婦健診・新生児
聴覚検査・2～4か月児の講座など



- 「子育ての相談」



■子ども家庭センター ☎022-356-6711

子育て支援

- 第3子以降の給食費の助成(3歳、4歳、5歳児)保育所、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設すべて対象で、所得制限なし
- ベビーベッドとベビーバス、ベビーシートを無料で貸出
- 妊娠期から子育て期の方々の相談場所

就学・教育支援

- 小・中学校入学時に、運動着費用を支援します。
- 教育総務課 ☎022-767-2179
- 「志教育」により、小・中・高校・支援学校が連携し、町内児童・生徒の繋がりを深める「ブラザーシップ」や、地域が一丸となって教育を支え合う「コミュニティシップ」を推進しています。
- 生涯学習課 ☎022-767-2125



起業支援

- 利府町まち・ひと・しごと創造ステーション「tsumiki」で、起業セミナーや起業相談、チャレンジマーケット等を実施



- 「利府町創業支援事業計画」に基づく各種支援を実施



■商工観光課 ☎022-767-2120

相談・体験

お試し移住体験住宅「e-ハマハウス」

- 令和7年4月オープン! 町外から利府町へ移住を検討する方にお試し移住体験を用意しております。表松島の海を眺望できる本住宅で他にはない特別なお試し移住を体験できます。
- 利用料金:無料
期間:2泊3日～6泊7日
(本町で指定する特定期間内)
- ※詳細については、ホームページをご確認ください。

■商工観光課 ☎022-767-2120

その他

結婚支援

- 各種婚活情報を広報するとともに、婚活に関する支援を実施予定。
- 秘書政策課 ☎022-767-2115

地域おこし協力隊

現在、地域おこし協力隊が以下の活動に取り組んでいます。

- 「観光×漁業」の連携による複合的な「海業」づくりを推進し、本町が有する「海」という観光資源を活かす新事業の展開や地域経済の活性化、地域ブランドの向上に努めています。
- 商工観光課 ☎022-767-2120
- 特産品「利府梨」の栽培技術を習得し、梨農家の一員として栽培から販売までを実践。SNSによる地域の魅力発信や地域づくりの支援活動も行います。
- 農林水産課 ☎022-767-2191

- 地域における課題解決を図りながら、地域経済の活性化や地域のブランド向上に取り組んでいます。



■秘書政策課 ☎022-767-2115

- 本町への移住定住事業の促進に向けて、お試し移住体験の企画・コーディネートや移住相談、町のプロモーション業務等に取り組んでいます。

■商工観光課 ☎022-767-2120



たいわちょう 大和町



お問い合わせ
●大和町まちづくり政策課まちづくり推進係
☎022-345-1115
〒981-3680
宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば一丁目1番地の1



移住に関するページ ホームページ

■大和町暮らしのデータ

- 人口: 27,862人
 - 世帯数: 12,628世帯
 - 保育施設等の数: 11所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 2校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 10所
- 令和7年4月1日現在

七ツ森の風と歴史が薫る みやぎの中核都市・大和町

大和町は、宮城県のほぼ中央、仙台市に隣接し、町のシンボル七ツ森や船形山の自然や宮床伊達家などの歴史を持つ豊かな町です。また、町の工業団地には先端技術産業や自動車関連企業などが多数進出しており、宮城県黒川高等学校のほか、看護学群や事業構想学群という全国的にも珍しい学群を設置した公立宮城大学もあります。現在、町では「七ツ森の輝く緑 元氣なくらしが広がる大和町～しあわせめぐるまち たいわ～」を基本理念にまちづくりを進めています。



〈町のシンボル七ツ森〉町を象徴する7つの山々



〈島田鮎まつり〉毎年12月14日は、縁結びのお祭りです

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車+路線バス: 約60分(仙台市営地下鉄南北線(20分) 仙台駅～泉中央駅+路線バス(40分) 泉中央駅～大和町バスターミナル)
- ・高速バス: 約40分(仙台駅～大和町バスターミナル)
- ・車: 約35分(仙台宮城IC～大和IC(東北自動車道))、約45分(国道4号)

地域内の移動手段

- ・バス: 路線バス、仙台・東京行き高速バスに加え、住民バス(1回乗車200円)を運行
- ・車: 大和町役場から東北自動車道の大和ICまで車で約5分
- ・その他: デマンド型乗合タクシーを運行

こんな人におすすめ!／

仙台都市圏で
仕事したい方

あんしんして
子育てをしたい方

自然豊かな環境で
生活をしたい方

住まい

空き家情報

- 大和町空き家・空き店舗の情報をホームページで紹介
- まちづくり政策課
☎022-345-1115



住宅取得支援

- 子育て世帯等移住・定住応援事業: 町内の対象地区への転入・転居を行った子育て世帯を対象に住宅取得やリフォーム費用を補助(最大150万円)
- 空き家住宅購入支援事業: 町内の対象地区への転入・転居者を対象に建築後20年を経過した空き家及びその土地の購入費用を補助(最大40万円)
- まちづくり政策課 ☎022-345-1115

子育て

医療費助成

- 18歳までの入院・通院に係る医療費の自己負担額を助成(所得制限なし)
- 子ども家庭課 ☎022-345-7503

出産支援

- 第3子以降育児応援祝金: 出生祝金(10万円)、入学祝金(小・中学校入学時に5万円のうち2万5千円は地元商品券)
- 妊婦のための支援給付を計2回実施。1回10万円(町で5万円上乗せ)
- 子ども家庭課 ☎022-345-7503

子育て支援

- 出産祝い品贈呈事業: 大和町でお誕生されたお子さんに絵本セットをプレゼント
- 健康推進課 ☎022-345-4857

- 児童支援センター: 自由来館による遊び場の提供、親子のふれあいイベントの開催、子育てに関する相談や情報の提供
- 子育て情報誌「ぽっかぽか」による情報の発信
- 子ども家庭課 ☎022-345-7503

- 子育て支援住宅: 中学生までのお子さんと一緒に暮らせる賃貸住宅を整備
- 都市建設課 ☎022-345-7504

就学・教育支援

- 高等学校等通学応援事業: 大和町の自宅から高等学校等までの通学定期券購入費用の一部を助成(上限1万円/月)
- まちづくり政策課 ☎022-345-1115
- 町内の小・中学校の給食費を無償化(所得制限無し)
- 学校給食センター ☎022-347-1388

その他

結婚支援

- 黒川地区結婚相談所: 黒川地区内にお住まいの方、お勤めの方、またそのご家族の方が対象。(登録・利用無料)
- 総務課 ☎022-345-1112

おおさとちょう 大郷町



お問い合わせ
●大郷町まちづくり政策課まちづくり推進係
☎022-359-5537
〒981-3592
宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5番地の8



E-mail



ホームページ

■大郷町暮らしのデータ

- 人口: 7,414人
- 世帯数: 2,951世帯
- 保育施設等の数: 2所
- 小学校の数: 1校
- 中学校の数: 1校
- 一般診療所の数: 1所

令和7年4月1日時点

未来を創り 育てるまち おおさと

大郷町は、仙台市の近郊にあり宮城県のほぼ中央に位置する、自然環境に恵まれた豊饒の地です。宮城県の中心に位置することから、仙台市はもちろんのこと、県内どこに移動するのも便利です。気候は、温暖で積雪も少なく、住みよい空間が広がっています。大郷町は、恵まれた自然環境を生かしながら、心豊かで持続的に発展するまちづくりに取り組んでいます。



〈築館公園からの眺め〉季節の移り変わりを実感できる、自然豊かな環境。



〈道の駅おおさと〉朝採れ野菜や特産品などたくさんの商品がそろっています。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

・車: 約40分(県道9号～大和IC～泉IC(東北自動車道)～県道22号線)

地域内の
移動手段

- ・バス: 住民バス(1回/最大300円)を運行
- ・車: 東北自動車道の大和ICまで車で約15分
三陸自動車道の松島大郷ICまで車で約10分

＼こんな人におすすめ!／

マイホームを
持ちたい方

豊かな自然の中で
暮らしたい方

旅行が好きな方

住まい

空き家情報

- 【空き地・空き家バンク】大郷町内に空き地・空き家をお持ちの方で「空き地・空き家売りたい、貸したい」とお考えの方と、大郷町内に住むために「空き地・空き家を買いたい、借りたい」とお考えの方にご登録いただき、双方にその情報を提供するものです。町内の空き地・空き家の情報をホームページで紹介しています。

■まちづくり政策課
☎022-359-5537



住宅取得支援

- 若者・子育て世代定住促進住宅支援奨励金
新築住宅を建築または建売住宅を購入した方で、配偶者との年齢の合計が90歳以下または15歳未満(中学生以下)の子どもを扶養している方の家屋及び土地の固定資産税相当額(上限25万円)を5年間補助(また、その間に扶養する子が誕生した場合その翌年度から更に5年間延長)

- 住宅取得支援事業補助金
町指定民間分譲地を取得し新築住宅を建築または建売住宅を購入した方で、配偶者との年齢の合計が90歳以下または18歳未満(高校生以下)の子どもを扶養している方を対象に補助(上限50万円)

■まちづくり政策課 ☎022-359-5537

リフォーム支援

【住宅リフォーム助成事業】

- 空き家を含めた住宅リフォーム費用の1/5を補助(上限10万円)(※18歳未満(高校生以下)の扶養親族がいる方は上限30万円)
- 町外から移住される方が、空き家バンクに登録されている空き家等を購入、または賃借して実施したリフォーム費用の1/5を補助(上限50万円)

■まちづくり政策課 ☎022-359-5537

子育て

医療費助成

- すこやか子育て医療費助成として、0歳から18歳まで無料(その他、母子・父子家庭及び心身障害者に対する助成制度あり)
- 町民課こども健康室 ☎022-359-3030

出産支援

- 出産祝金
出産祝金として、第1子1万円、第2子2万円、第3子3万円、第4子以降5万円を支給
- 出産応援給付金
出産応援給付金として妊娠1回あたり5万円、子育て応援給付金として児童1人あたり5万円を支給
- 町民課こども健康室 ☎022-359-3030

子育て支援

- 育児用品引換券
育児用品引換券を満1歳の誕生日まで月額3千円上限として配布
- 産後ケア事業
産後ケアとして日帰りによる育児のサポートを実施
- 町民課こども健康室 ☎022-359-3030

就学・教育支援

- 学校給食費無償化
学校給食費の全額助成による完全無償化を実施
- 教育委員会 ☎022-359-2552

おおひらむら 大衡村



■大衡村暮らしのデータ

- 人口: 5,631人
- 世帯数: 2,102世帯
- 保育施設等の数: 2所
- 小学校の数: 1校
- 中学校の数: 1校
- 一般診療所の数: 1所

令和7年4月1日時点

お問い合わせ
●企画財政課
☎022-341-8510
〒981-3692
宮城県黒川郡大衡村大衡字平林62



ホームページ

みんなで支え笑顔で暮らせる まちづくり

宮城県のほぼ中央に位置する大衡村は、四季折々に多彩な姿を見せる山々や「昭和万葉の森」、「達居森」に代表される豊かな自然環境に恵まれ、明治22年の村制施行以来、先人たちが脈々と築いてきた歴史を礎に、新たな時代を迎えようとしています。

近年では自動車関連産業を中心とする多くの企業進出が目ざましく、村の産業のさらなる飛躍が期待されています。



〈四季彩苑〉四季折々の草花を楽しめます。



〈わんぱくランド〉休日には多くの親子連れで大いに賑わいます。

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

バス: 約50分 (JR仙台駅～大衡村役場前(高速バス 仙台大衡線))
車: 約50分 (JR仙台駅～大衡村役場)

地域内の
移動手段

デマンド型交通「のらいん」を運行しています。日常生活では、自家用車の必要性が高い地域です

＼こんな人におすすめ！／

子育て中の方

農業を始めたい方

マイホームを
持ちたい方

🏠 住まい

空き家情報

- 空き家等の情報をホームページ等で紹介



- 企画財政課 ☎022-341-8510

住宅取得支援

- 定住人口の増加を目指し、新規転入する若者世帯に対して、最大50万円。新たに三世代で同居をする世帯が取得する住宅に対し、最大150万円の補助金を交付
- 企画財政課 ☎022-341-8510
- 太陽光発電システム設置等に係る費用について補助金を交付
- 太陽光発電設備出力1kwあたり5万円(上限17.5万円)
- 定置用リチウムイオン電池設備購入及び工事費の1/10(上限10万円)
- HEMS(ホームエネルギー管理システム)設備購入及び工事費の1/5(上限2万円)
- 住民生活課 ☎022-341-8512

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 出生から18歳の年度末まで、入院費の自己負担分を全額助成
- 住民生活課 ☎022-341-8512

出産支援

- 妊婦へ5万円の子育て支援券を交付し、タクシー利用料及び育児用品(紙おむつ・粉ミルク)の購入を助成
- 出産祝い金5万円を支給
- 健康福祉課 ☎022-345-0253

就学・教育支援

- 小学校、中学校、高校入学時にそれぞれ3万円支給
- 健康福祉課 ☎022-345-0253
- 学校給食費無料
- 学校給食センター ☎022-345-5082

その他

結婚支援

- 黒川地区後継者対策推進協議会で結婚相談所、婚活イベントを開催
- 産業振興課 ☎022-341-8514

その他

- 村内に本社を置く企業が村内工場で生産した自動車を購入した方に対し、補助金を1台当たり最大5万円、村外工場で生産した自動車を購入した方に、最大3万円交付。
- 産業振興課 ☎022-341-8514

- クリーンエネルギーカーを購入された方に対して1台当たり補助金を交付
 - ・水素自動車…30万円
 - ・電気自動車…6万円
 - ・プラグインハイブリット…5万円
 - ・電気式ミニカー…3万円
- 住民生活課 ☎022-341-8512